

春日山原始林を未来へつなぐ会

春日山原始林アートプロジェクト パンフレット

令和4年(2022)2月発行

一本の倒木からはじまった

「森を守る」アートプロジェクト

春日大社の東側に広がる春日山原始林。南側の境界線となる旧柳生街道「滝坂の道」にある首切り地蔵の傍に、樹齢600年の大杉が立っていた。2017年に自然倒木。その一部を「春日山原始林を未来へつなぐ会」が譲り受け、このアートプロジェクトが2019年誕生し、アートを通して春日山原始林の保全活動への理解を深める橋渡しとなるべく活動をしている。春日山原始林の存在を知ってもらい、大杉の歴史、さらに原始林の過去、今、未来に想像を巡らせ、地球の財産である原始林を次の世代へつないでいくことを目標としています。

アート作品として生まれ変わった

樹齢600年の大杉

通常は石一つ持ち出すことも禁止されている春日山原始林の貴重な倒木を使ったアート作品です。 下写真：パンフレットより



パンフレット表紙



滝坂の道にある首切り地蔵の傍にあった樹齢600年の大杉が平成29年(2017)に倒木したことがきっかけとなりアートプロジェクトがスタートした。

下写真撮影：厚見昌彦氏 昭和46年(1971)

